

## デーリー東北

2021年(令和3年)10月22日(金曜日) (26)

# 新型コロナウイルス 病棟開設

八戸平和病院



新型コロナウイルス病棟で空調検証を行う浅川拓克准教授(左)と同病院の医師ら

## 八工大が空調を検証

八戸平和病院(濱田和一郎院長)は、新型コロナウイルス専用病棟を開設した。今夏に八戸市内で感染者が急増したことを受け、地域の医療ニーズに因應するため4床を確保。21日は八戸工業大学学部の協力の下、専用病棟の換気状況を確認する試験が行われ、病院関係者らが実際の使用に備えた。同病院では透析患者を多く抱えている現状もあり、通院患者らで感染者が発生した場合、できる限り院内で対応しようと9月中旬に専用病棟を開設。一方、病棟は築30年以上

で換気設備が古いことから、PCR検体採取ボックスの開発などを手掛ける同学部の浅川拓克准教授と小藤一樹准教授に空調検証を依頼していた。

この日の試験では、関係者が病室や専用病棟内で飛沫に見立てたスモークを発生させ、高精度の微粒子モニターで空調の様子を数値化し、安全性を確かめた。

濱田院長は「患者はもちろん、体を張って新型コロナウイルスと闘う医療従事者をどのように守るかが課題。工業大の助言をもらいながら感染に強い院内構造を構築していきたい」と力を込めた。

(三浦千尋)